



向陽高等学校・中学校は、SSH再指定（5年間）の3年目に入りました。

3年環境科学科 「SS探究科学Ⅲ」 ティベート学習

環境科学科3年生では、「SS探究科学Ⅲ」の授業の中で、科学技術の発展と現代社会における関係について総合的に理解するためにディベート学習を行いました。

ディベートの対決に向けて、事前にインターネットや関係の書籍より調査を進め、資料をまとめていました。対戦は、5月9日～30日までに3対戦が行われ、活発に議論を交わしました。

第1回 5月9日「日本は、商業捕鯨を再開すべきである。是か非か。」

第2回 5月23日「日本は、積極的安楽死を法的に認めるべきである、是か非か。」

第3回 5月30日「日本は、全ての原子力発電を代替発電に切り替えるべきである。是か非か。」

以上の、3テーマでディベート学習を進める中で、環境問題、医療問題等に関連する科学技術についての理解とそのあるべき姿を考えるとともに、科学に関連する倫理についても意識することができたと思います。

ディベート学習をすすめる中で、情報スキルやコミュニケーション能力の育成にもつながったと思います。

また、各対戦には、それぞれ審査員として、中学3年生、環境科学科2年生、中学2年生が参観しました。参観した生徒も、白熱の議論を聞く中で、それぞれの論題の内容について、学習を深めることができたと思います。



2年環境科学科 「SS探究科学Ⅱ」の授業では

「SS探究科学Ⅱ」の授業では、物理、化学、生物、数学、環境の5つの分野のゼミに分かれて課題研究をしています。ゼミの中で、さらにグループに分かれてテーマを設定し、課題研究を進めています。

今年度は、大学の先生や研究の専門家や大学院生の方にアドバイザーとして指導してい

ただく研究テーマ、先輩が研究していた内容をさらに引き継いで深めていく研究テーマなど様々なテーマで研究を進めています。テーマの例は「遺伝子解析」、「水車による発電」などに取り組んでいます。

課題研究で研究した内容は、さまざまな研究発表会や学会等で口頭発表やポスターセッションで発表していくことになります。

各ゼミでの研究については、「SSH News」のなかでお知らせする予定です。



1年環境科学科 「SS環境科学」「SS探究科学Ⅰ」の授業では

「SS環境科学」の授業では、自然科学と社会科学の両面から、環境問題について学習を深めていきます。

「SS探究科学Ⅰ」の授業では、科学英語読解や外国人研究者の講演、物理、化学、生物の各分野の実験の講座やフィールドワーク等を行っていきます。

5月24日（金）には、「和歌山市内河川水質調査」のフィールドワークを行いました。

また、「SS探究科学Ⅰ」の授業では、科学英語の学習（ダートフォードグラマースクールの生徒が来校した際に、科学英語にて交流するためのサイエンス・クイズ）も始まっています。後半からは、物理・化学・生物分野の発展的な実験・実習も行われます。

一年を通して、さまざまなSSH活動を体験していくことになります。楽しみながら、探究心を育てていって欲しいと思います。

